

U-35Glass Architecture Competition 公開審査

多様な光のあるガラス建築

第 62 回デザインフォーラム

2015.10.20 (Tue)

18:00-20:00

東京・京橋 AGC studio

www.agcstudio.jp www.aafac

Glass Architecture Competition 2014 最優秀案



AGC studio

Produced by

AGC

公開審査（最終二次審査）第62回デザインフォーラム

一次審査を通過した上位3作品を、プレゼンテーション形式で公開審査し、実現化に向けた最優秀賞を決定します。

テーマ 多様な光のあるガラス建築

提案条件

構造はとくに限定しませんが、原則としてガラスの特性を新しく読み取った建築の提案を求めます。ガラスの新しい使い方、照明を含む光の効果的な活用、ガラスの必然性などをキーワードに提案を期待しています。また、できるだけ現在の技術で実現可能な建築物の提案としてください。

日時 平成27年10月20日（火） 18:00-20:00

会場 AGC studio（東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館2階）

入場 無料

定員 70名（事前申込制・先着順）

お申込み 観覧をご希望の方は、下記「AGC studio」ウェブサイトよりお申込みください
<http://www.agcstudio.jp/>

お問合せ agc-studio@agc.com

公開審査会プログラム

- 18:00-18:10（10分）主催者より始めの挨拶、審査員ご紹介
- 18:10-19:10（60分）発表者プレゼンテーション ※1次審査通過者3組
（プレゼン10分 質疑10分 / 1組）
- 19:10-19:30（20分）公開審査
- 19:30-19:50（20分）発表と講評、表彰式
- 19:50-20:00（10分）主催者より終わりの挨拶

審査員

太田浩史（建築家・一級建築士事務所ヌーブ共同主宰）

佐藤淳（構造家・佐藤淳構造設計事務所主宰）

平沼孝啓（建築家・平沼孝啓建築研究所主宰）

新井太吉（AGCガラスカンパニービルディング・産業事業本部 日本・アジア事業部 日本事業部長）



太田浩史 Hiroshi Ohta
建築家 | 一級建築士事務所ヌーブ共同主宰



佐藤淳 Jun Sato
構造家 | 佐藤淳構造設計事務所主宰



平沼孝啓 Kohki Hiranuma
建築家 | 平沼孝啓建築研究所主宰

1968年東京生まれ。博士（工学）。00年デザイン・ヌーブ設立。主な作品に「PopulousSCAPE」（2005）、「AGCスタジオ」（2010）など。東京ビクニッククラブ共同主宰。

1970年愛知生まれ。00年佐藤淳構造設計事務所設立。10年より東京大学准教授（AGC寄付講座）。建築家と協働で、数々の現代建築を新たな設計理念によって実現させてきた。

1971年大阪生まれ。99年平沼孝啓建築研究所設立。主な受賞にインベティフ・アーキテクチャ国際建築賞（イタリア）や、ジャーマン国際アワード（ドイツ）など。14年ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展。

AGC studio

AAF
Art & Architect Festa

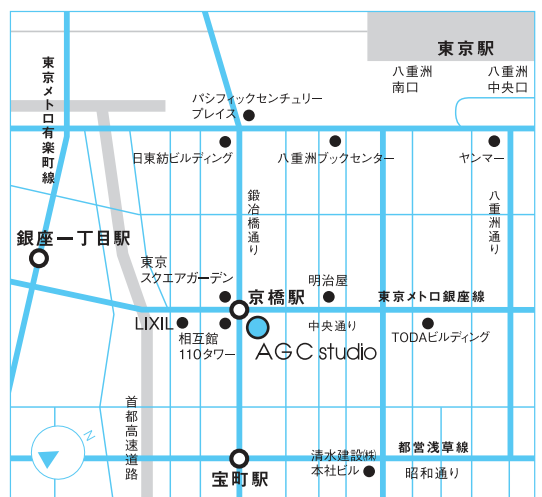


昨年開催の様子

- 電車でのアクセス
銀座線京橋駅4番出口、銀座の中央通りと鍛冶橋通りの交差点
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分 有楽町線銀座一丁目駅より徒歩4分
都営浅草線宝町駅より徒歩3分

- 車でお越しの場合
AGC studioでは駐車場のご用意はございません。
車でお越しの際には、周辺の有料駐車場等をご利用ください。

- access by train
Just outside of Exit 4 from Kyobashi Station on the Ginza Line
10 minutes walk from the Yaesu South Exit of JR Tokyo Station
4 minutes walk from Ginza-1chome Station on the Yurakucho Line
3 minutes walk from Takaracho Station on the Toei Asakusa Line



〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館1・2階
1F and 2F Kyobashi Soseikan building, 2-5-18 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104-0031
TEL. 03-5524-5511
FAX. 03-3566-6050



AGC studio

Produced by AGC

35歳以下の若手建築家によるガラス建築の設計競技 公開審査

ガラスは、透明性をもつ硬質素材という特質により、温度や湿度、騒音などから人々を守る役割を果たしながら、内部空間に明るい光をもたらし、外部環境への視界をクリアに広げることができる。現代建築には欠かせない存在となっています。閉ざしながら透明性をもつ未来的な空間には、人々に清々しさや感動を与える力があります。この設計競技では、今後の活躍が期待される35歳以下の若手建築家から、ガラス素材の新しい使い方や表現の建築の提案を募ります。

Glass is an indispensable material for modern architecture. This material gives bright light to interior spaces and can extend the view to outside environment. All of this, in clear accordance with being a hard transparent material while protecting people from heat, cold, humidity, noise, etc. The future space of glass has the power of giving people a fresh and new glass impression which is transparent yet shutting off to the outside. 7 Young architects under 35 of age and who are expected future architectural achievements are for this design competition. This competition raises the architects' visions of a new usage and expression of the glass material.



橋村 遼



岡田 翔太郎



金田 泰裕



北村 直也



佐藤 研也



高濱 史子



2014年度 指名設計者の提案



2014年度 最優秀設計者の提案